

まちづくり交付金 事後評価シート  
味岡地区

平成21年12月

愛知県小牧市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	小牧市		地区名	味噌地区			面積	200ha		
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	3.925百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路：市道郷浦1号線、公園：岩崎山公園、公園：本田公園、公園：糺公園、公園：法花寺公園、公園：北前公園、下水道：一色汚水枝線外、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、高次都市施設、土地区画整理事業：小牧岩崎山前地区、土地区画整理事業：小牧文津地区									
			提案事業	地域創造支援事業：入鹿用水路敷おしゃべり小径整備事業、地域創造支援事業：岩屋古墳復元事業、まちづくり活動推進事業：街区公園修景整備事業									
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	①道路：(仮称)市道郷浦38号線 ②公園：東前公園 ③公園：町屋公園			①計画期間内に緊急で整備する必要がなくなり、整備スケジュールを見直したため、事業を削除した。 ②③区画整理の道路整備計画と合わせ、整備スケジュールを見直したため、事業を削除した。			①指標1(居住者数)への影響はあるが、指標への影響は軽微であるため目標値は据え置いた。 ②③指標4(住民団体の活動日数)への影響はあるが、指標への影響は軽微であるため目標値は据え置いた。			
新たに追加した事業		提案事業	まちづくり活動推進事業：岩崎山等総合体験学習事業										
交付期間の変更		当初変更	平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	居住者数	人	5,829	H16	6,900	H21	モニタリング	評価値	○	あり なし	土地区画整理事業(小牧岩崎山前地区、小牧文津地区、小牧小松寺地区、小牧原北屋敷地区)、民間住宅団地造成事業(本庄地区)の実施により居住者数が増加した。	H22.6
	指標2	体験学習参加人数	人	160	H16	320	H21	155(H20)	365	○	あり なし	公園事業(岩崎山公園)、地域創造支援事業(岩屋古墳復元事業)により、体験学習の場を提供でき、体験学習参加者が増加した。	H22.6
	指標3	駅利用者数	人/日	2,633	H16	3,600	H21	3,191(H19)	3,500	△	あり なし	サイン事業、味噌駅前広場による味噌駅の利便性の向上や土地区画整理事業、民間住宅団地造成事業による居住者増が図られ、駅利用者が増加したが目標を達成することができなかった。しかしながら、継続して増加傾向を示していることから1年以内の目標達成は可能であると推測される。	H22.6
	指標4	住民団体の活動日数	日/年	70	H16	130	H21	133(H19)	174	○	あり なし	公園及び高次都市施設の設置により、地域住民自らが施設の維持管理等を実施し、活動日数が増加した。	H22.6
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
その他の数値指標1													
4)定性的な効果発現状況	<p>味噌地区は、「岩崎山の自然・歴史を活かした個性と魅力ある本市北部の拠点と北の玄関口の一体的形成」という目標を掲げ、以下の内容を実現した。</p> <p>①土地区画整理事業・民間住宅造成事業により生活基盤施設が整備され、公園事業により住民の憩いの場が確保されたことにより、住環境の利便性を高めた。</p> <p>②公園整備・高次都市施設の整備によって住民団体の活動場所が整備され、地域コミュニティが活性化した。</p> <p>③一方で、地下鉄・名鉄連絡線が開通したことによる効果は、当初想定していた以上の効果があり、まち交の実施によって、より高い効果をもたらした。</p> <p>④第5次小牧市総合計画「かがやきクリエイション21」における「人と緑がかがやく創造のまち」の実現を図るとともに、本地区は「小牧市都市計画マスタープラン」における『緑豊かでゆとりある住環境の形成』、「小牧市地域再生計画」における『歴史性を活かした本市北部の居住拠点・玄関口』に位置づけられており、それが着実に進展していることがうかがえる。</p>												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	小牧市統計書等によるモニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	指標達成について、モニタリングと同様に小牧市統計書等により確認する。	
	住民参加プロセス	公園整備のワークショップの開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	今後も同様の方法で計画を立てていく。	
持続的なまちづくり体制の構築	アダプト制度の実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	今後も継続して実施する。		

## 様式2-2 地区の概要

### 味岡地区(愛知県小牧市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
<b>■岩崎山の自然・歴史を活かした個性と魅力ある本市北部の居住拠点と北の玄関口の一体的形成</b> 目標1:多様なニーズに対応した良好な居住環境の形成…都市基盤の整備と魅力と個性ある環境整備の一体的実施 目標2:緑と歴史資源を活かした魅力あるまちづくり…緑と歴史資源をソフト・ハード両面で活用し、地域アメニティを向上 目標3:北の玄関口にふさわしい交通利便性の高いまちづくり…名鉄味岡駅の交通結節点機能の向上と周辺道路網の総合的な整備 目標4:地域コミュニティの再生・形成による住民主体のまちづくり…地域住民が主体的にまちの維持・管理や運営(アドプト制度)をおこなう機運の醸成と場づくり	居住者数	単位:人	5,829 H16	6,900 H21	7,100 H21
	体験学習参加人数	単位:人	160 H16	320 H21	365 H21
	駅利用者数	単位:人/日	2,633 H16	3,600 H21	3,500 H21
	住民団体の活動日数	単位:日/年	70 H16	130 H21	174 H21

**土地区画整理事業**  
(小牧岩崎山前地区)



**公園事業**  
(岩崎山公園)



**地域創造支援事業**  
(岩屋古墳復元事業)



**味岡地区の対象範囲(A=200ha)**



**高質空間形成施設**  
(味岡駅前広場)



**高次都市施設事業**  
(小牧原北会館)



**まちづくり活動推進事業**  
(街区公園修景整備事業)



**まちの課題の変化**

これまで味岡地区は住工混在した市街化が進行していたが、土地区画整理事業や民間住宅団地造成事業を実施し、生活基盤施設が充実され、地域住民の住環境を高めた。それにより、目標値を超える人口定着が達成された。一方、公園事業を実施し、体験学習活動場所が整備された。しかし、一部の公園事業(岩崎山公園)が整備完了しておらず、早期完了による整備効果の発現が課題である。また、住民主体のまちの管理・運営の実現に向け、公園整備計画段階から地域住民とのワークショップを実施し、住民の意見を盛り込んだ公園が整備された。今後は住民主体の公園管理、運営体制づくりが必要である。さらに予想以上の人口増に対応した地域コミュニティ施設の充実が必要である。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

持続可能な社会の構築(住民主体のまちの管理・運営の実現)  
 ○公園整備計画段階から地域住民とのワークショップを実施し、公園整備に住民の意見を盛り込む。  
 良好な住環境の維持・向上による継続した人口定着  
 ○基盤整備と住環境の向上のための各種事業を実施し、継続した人口定着を図る。  
 味岡駅を中心とした公共交通の利便性の向上  
 ○コミュニティバスの活用による公共交通体系の充実  
 地域資源の活用と公益施設整備による住みやすいまちづくり  
 ○人口増加に対応した地域コミュニティ施設等の充実  
 ○岩崎山の歴史性をいかした環境整備の推進